

令和 8 年度入学試験問題(前期)

国 語

【注 意 事 項】

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いて見てはならない。
2. 本冊子には、一から三までの 3 問題が印刷されていて、合計 19 ページある。
落丁、乱丁、印刷の不鮮明な箇所等がある場合には、申し出ること。
3. 解答用紙を別に配付している。解答は、解答用紙の指定された箇所に記入すること。所定の箇所以外に記入したものは無効である。
4. 解答の字数を指定している場合、句読点や符号やかっこ等もそれぞれ一文字分にかえる。
5. 解答用紙の指定された欄に、学部名および受験番号を記入すること。
6. 配付された解答用紙は、持ち帰らないこと。
7. 配付された問題冊子は、持ち帰ること。

— 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作権の関係上、省略します。

著作権の関係上、省略します。

著作権の関係上、省略します。

著作権の関係上、省略します。

著作権の関係上、省略します。

著作権の関係上、省略します。

著作権の関係上、省略します。

(東辻賢治郎「ないものの生が教えること——幽霊島」より。出題の都合上、一部表記を改めた。)

問一 傍線あゝおの漢字の読み方をひらがなで書きなさい。

あ 企画 い 流布 う 依(らず) え 踏襲 お 排斥

問二 傍線カゝコのカタカナを漢字に直しなさい。

カ ソコウ キ ヘンセン ク コツシ ケ ハアク コ ジュウテン

問三 空欄 a ｝ d に入る最も適当な語句を次より選び、それぞれ記号で答えなさい(それぞれの記号は一度しか使わない)。

ア むしろ イ なぜなら ウ また エ そして オ つまり

問四 傍線1「島まるごとの規模で地図(あるいは地図へと集約される私たちの地理的知識の体系)が「誤りうる」ことへの驚き」と

あるが、驚きとそれをもたらす理由との関係を端的に言い表した箇所を本文中から二五字で抜き出しなさい。

問五 波線X「齟齬」、波線Y「誤謬」の意味の組み合わせとして最も適当な選択肢を一つ選び、記号で答えなさい。

- | | | | | |
|---|---|----------|---|---------|
| ア | X | 反発すること | Y | 間違えること |
| イ | X | 噛み合わないこと | Y | 見誤ること |
| ウ | X | ずれていること | Y | 錯覚すること |
| エ | X | 食い違うこと | Y | 正しくないこと |
| オ | X | 板挟みになること | Y | 誤解すること |

問六 空欄

I

く

III

に入る語句の組み合わせとして最も適当な選択肢を一つ選び、記号で答えなさい。

- | | | | | | | |
|---|---|-----|----|-----|-----|-----|
| ア | I | 一元的 | II | 創造的 | III | 決定的 |
| イ | I | 普遍的 | II | 理想的 | III | 典型的 |
| ウ | I | 普遍的 | II | 創造的 | III | 典型的 |
| エ | I | 一元的 | II | 理想的 | III | 一般的 |
| オ | I | 普遍的 | II | 創造的 | III | 理想的 |

問七 傍線2「幽霊島は地図に一瞬開かれる過去への扉であり、私たちはそれを覗きこまずにはいられない」とあるが、その内容を説明した文章として最も適当な選択肢を一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 地図上には存在していた島が実際にはないと分かると、過去に同じ現象が起こっていたか確かめたくなくなるということ。
- イ 過去になかったはずの島が新たに確認されると、発見された島の出自について調べずにはいられなくなるということ。
- ウ 存在の自明ではない島が、あるきっかけで消滅すると、島の歴史的な特異性に特別な視線を注いでしまうということ。
- エ 当然存在すると思われた島が、実際には存在しなかったことを知ると、その島の出自について知りたくなるということ。
- オ 存在すると思われた島が消失すると、過去の地図はもとより、現在の地図に対しても疑念が生じてしまうということ。

問八 傍線3「数多くの幽霊島の物語を概観すると、そこには幽霊島の誕生から死に向かう、いわばひとつの生としての語りのパターンが見出される」とあるが、「幽霊島の物語」には他にどのような特徴があると述べているか。本文中の言葉を用いながら、八〇字以内で説明しなさい。

問九 傍線4「聖ブレンダンの島」が具体例として挙げられているのは、筆者がどのようなことを明らかにしようとするためか。最も適当な選択肢を一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 聖ブレンダンが経験した旅の壮大さ
- イ 島の典型例である幽霊島を持つ特徴
- ウ 「疑存島」についての目撃事例の多さ
- エ 幽霊島の地図史でのトリビア的意義
- オ 地図上に幽霊島が存在し続けた理由

問十 傍線5「特異な事情」とあるが、なぜ特異なのか。最も適当な選択肢を一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 幽霊島は、暗黙に存在が主張される島として登場するから。
- イ はじめから存在自体が疑われていることが明示的に示された島だったから。
- ウ 探しても見つけることができず、偶然にのみ発見された島だったから。
- エ 一二世紀初頭の宇宙論や地理を集成した書籍に、伝説として記載された島だから。
- オ 聖ブレンダンが発見して去った後、誰にも発見されていない島だから。

問十一 傍線6「ある時代の人間の営み」とあるが、それはどのようなことか。七〇字以内で説明しなさい。

二 次
次の文章は、『りまうじんひしやう梁塵秘抄口伝集』の後白河上皇の賀茂参詣の場面である。これを読んで、後の問いに答えなさい。

著作権の関係上、省略します。

(『りまうじんひしやう梁塵秘抄口伝集』より)

(注) ○後白河上皇 — 生没年は一二二七—一九二二年。今様を集めた『梁塵秘抄』を選集した。

○同じ年 — 嘉応元年(一一六九)。 ○さまを変へむ — 僧に姿を変える。 ○下の社 — 下鴨神社。

○白栲 — こうぞなどの繊維で織った白い布。 ○次第の事 — 参拝の次第の事。

○転読 — 経典の一部を読んで、全体を読むことに代えること。 ○平調 — 雅楽の調子の一つ。

○「青柳」「更衣」「いかにせん」 — 催馬楽の曲名。 ○今様 — 平安中期以降に起こった新しい形式の流行歌謡。

○御手洗川 — 下鴨神社内の御手洗池を水源とする川。第三句の歌い出しはもと「お前の池なる」。

○挿頭 — 草木の花や枝を頭や冠にさすこと。

○足柄、あまのとうさい、関神、滝水、黒鳥子、伊地古、旧河 — いずれも曲名。 ○沙汰す — 噂する。

問一 a～dの助動詞について、次の問いに答えなさい。

(1) a～dの助動詞の意味を次の中から選び、それぞれ記号で答えなさい(同じ記号を二度以上使ってもよい)。

- | | | | | | | | | | |
|---|----|---|----|---|----|---|------|---|------|
| ア | 自発 | イ | 受身 | ウ | 尊敬 | エ | 完了 | オ | 強意 |
| カ | 推定 | キ | 推量 | ク | 過去 | ケ | 過去推量 | コ | 打消推量 |

(2) 次の和歌の傍線部のうち、c「に」と同じ助動詞を使用している選択肢を一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 浅緑花もひとつにかすみつつおぼろに見ゆる春の夜の月
イ 思ひつつ経にける年のかひやなきただあらましの夕暮の空
ウ 立ちのぼる煙をだにも見るべきに霞にまがふ春のあけぼの
エ 忍ばじよ石間づたひの谷川も瀬を堰せくにこそ水まさりけれ
オ 常よりも今日の煙のたよりにや西をはるかに思ひやるらん

問二 二重傍線①「たてまつり」・②「おはします」について、次の問いに答えなさい。

(1) ①「たてまつり」・②「おはします」の敬語の種類を次の中から選び、それぞれ記号で答えなさい(同じ記号を二度以上使ってもよい)。

- ア 尊敬の本動詞 イ 謙譲の本動詞
ウ 丁寧の本動詞
エ 尊敬の補助動詞 オ 謙譲の補助動詞
カ 丁寧の補助動詞

(2) ①「たてまつり」・②「おはします」を、それぞれ文脈に合わせて現代語訳しなさい。

問三 傍線1「たぐひなくおぼゆ」と感じたのは、どのような光景についてか。比喻表現を明らかにしながら、六〇字以内で説明しなさい。

問四 傍線2「をりにあひ、めでたかりき」に当てはまる説明として最も適当な選択肢を一つ選び、記号で答えなさい。

ア 今様に歌われる正月と梅の取り合わせはめでたいたので、後白河上皇が出家する慶事に相応しい。

イ 後白河上皇が下鴨神社に咲く梅を折って奉納したので、出来事に合う「梅の花」の今様は相応しい。

ウ 梅の花が咲いて実を付ける、季節の移り変わりを歌う今様は、梅が実を付ける季節なので相応しい。

エ 「御手洗川」は、下鴨神社という場所を踏まえて資賢が即興で歌い変えた語で、機転が利いている。

オ 「心解けたる」は、大雪が溶けた情景に合わせて資賢が即興で歌い変えたもので、機転が利いている。

問五 傍線3「ちはやぶる」の修辞法の名称を漢字で答えなさい。

問六 傍線4「この歌ども、をりからにや、常よりもおもしろきことかぎりなし」を四〇字以内で現代語訳しなさい。

問七 傍線5について、次の問いに答えなさい。

(1) 「聞く人」とは誰のことか。本文中から九字で抜き出しなさい。

(2) 「あやしみけり」とあるが、なぜ「あやし」と思ったのか。その理由として最も適当な選択肢を一つ選び、記号で答えなさい。

ア 今様を歌い始めたところ、宝殿から音が漏れて、礼儀から外れていると思ったから。

イ 今様を歌い始めたところ、老若男女が集まり、異常事態だと思ったから。

ウ 今様にあわせて、宝殿から琵琶の音が鳴り、神秘的だと思ったから。

エ 今様にあわせて、宝殿から琵琶の音が鳴り、不審人物がいると思ったから。

オ 今様にあわせて、宝殿から琵琶の音が鳴り、みすばらしい演奏だと思ったから。

問八 後白河上皇の賀茂参詣は平安時代末期のことである。同時代の戦乱の様子が描かれた軍記物語として最も適当な作品名を一つ選び、記号で答えなさい。

ア 『源氏物語』

イ 『平家物語』

ウ 『武家義理物語』

エ 『今昔物語集』

オ 『太平記』

三 次の漢詩は、白居易が忠州（現在の重慶市）に赴任していた時、序舎の庭に植わっている槐^{えんじゆ}について詠じたものである。これを読んで、後の問いに答えなさい（設問の都合で返り点・送り仮名を省略したところがある）。

著作権の関係上、省略します。

（『白氏文集』より）

(注) ○白居易―中唐期の詩人(七七二―八四六)。

○支離―疲れ衰える。 ○蒙蒙―盛んなさま。 ○嫋嫋―揺れるさま。

○渭水―黄河の支流の一つで、長安(現在の陝西省西安市)の北を流れる川。

○墀―階段を登りつめた場所。

問一 二重傍線 a・b の意味として、それぞれ最も適当な選択肢を一つ選び、記号で答えなさい。

a 縦 ア むやみに イ 確かに ウ 仮に エ 順調に オ 過去に

b 忽 ア 不意に イ 大きさに ウ 幸運に エ うかつに オ はるかに

問二 空欄 * に入る字句として最も適当な選択肢を一つ選び、記号で答えなさい。

ア 花較遅 イ 亦有花 ウ 白花舞 エ 幾花開 オ 黄花枝

問三 傍線 1「憶在故園時」について、「故園に在りし時を憶ふ」と読めるように、白文に返り点をつけなさい(送り仮名は不要)。

問四 傍線2「況見旧親知」について、次の問いに答えなさい。

(1) 書き下し文にしなさい。

(2) 言葉を補って現代語訳しなさい。

問五 この詩からは、作者のどのような願望が読み取れるか。本文中の単語を用いて説明しなさい。